

令和8年度 浦安市の学校教育

浦安市学校教育推進計画 基本目標:自ら学び 自他を尊重する心と 新しい時代を切り開き しなやかに生きる力を育みます

～ うらやす 『あしたの教育』 プロジェクト ～

特別支援学級の整備

一人一人の教育的ニーズに応じた多様な学びの場の充実を図るため、特別支援学級の整備を計画的に進めています。

令和8年度は浦安中学校と富岡中学校に、自閉症・情緒障がい学級を新たに設置します。



本市では、学校教育分野と生涯学習分野、生涯スポーツ分野を包含した計画である「浦安市教育振興計画」に基づき、幼稚園・認定こども園、保育園、小・中学校における教育のさらなる充実・発展を目指し「浦安市学校教育推進計画」を策定し、本計画に基づいて、学校教育に関するさまざまな施策に取り組んでいます。

本計画を推進するに当たり、令和8年度から「うらやす『あしたの教育』プロジェクト」として学校教育の充実・発展に取り組んでいきます。取組に当たっては、「浦安のこどもたちが20年後、30年後も幸せであるために」を合言葉に、「今」必要な教育を考え、以下の3つ理念を柱に進めていきます。

教育課程カリキュラム改革

本市では、「学びの質の向上」「児童生徒の安全・安心の確保」「教員の働き方改革の推進」を目的とし、令和3年度よりカリキュラム改革を志向してまいりました。その成果や課題を踏まえ、令和8年度からは夏季休業期間を変更します。引き続き、各学校では、市の施策及び学校の特色を踏まえて教育課程を編成します。



不登校支援(居場所づくり)

子ども一人一人の状況に合わせ、安心して学びや社会参加につながる環境づくりを進めています。いちょう学級やオンラインを活用した支援に加え、新たに「社会教育施設を活用した不登校支援」を開始します。

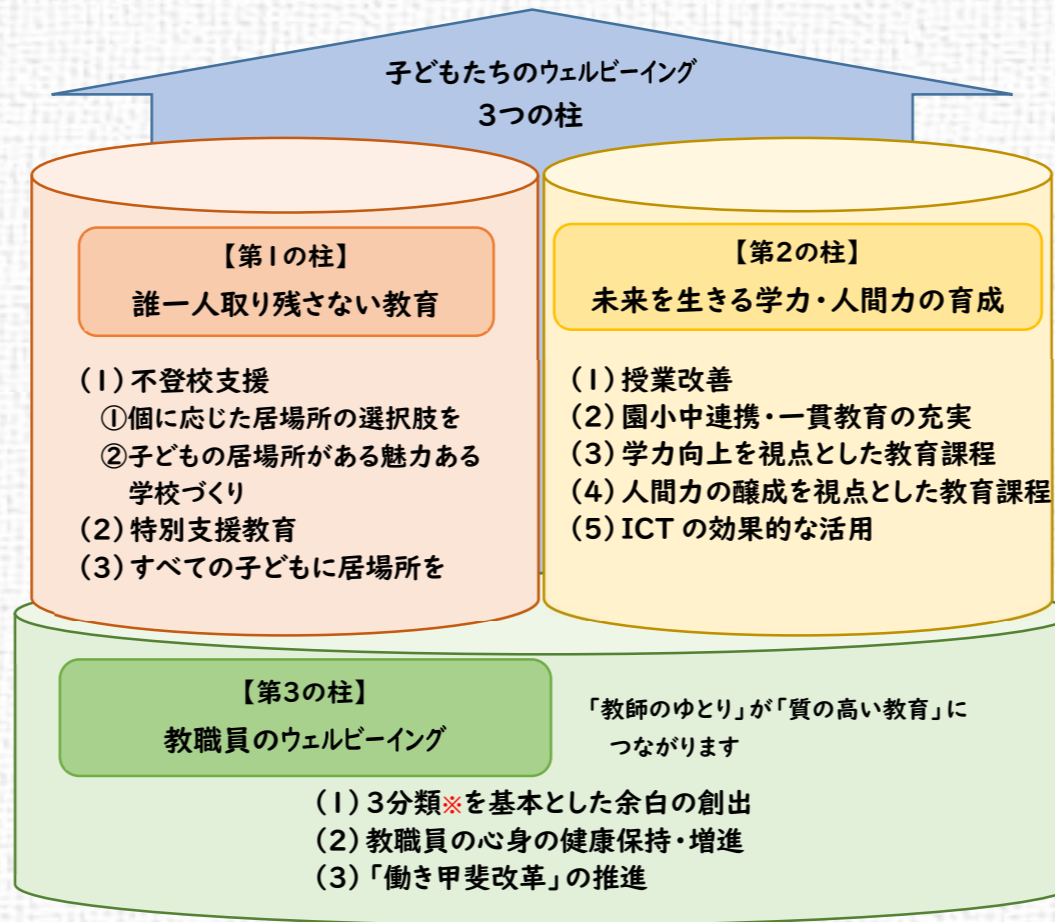
公民館等、近隣の施設を活用することで、気軽に一歩を踏み出せるようサポートしていきます。

中央図書館のファブスペースで3Dプリンターを活用した物づくりにも取り組めます。



「幼保小の架け橋プログラム」の推進

年長5歳児から小学1年生までの2年間を「架け橋期」と称し、園と小学校の先生が協働で「架け橋期のカリキュラム」の作成をするなど、子どもが円滑に学びを継続できる仕組みを整えることで、架け橋期の教育の充実を図ります。



部活動の地域展開

令和7年度より、生徒が将来にわたってスポーツや文化活動に親しめるよう、土日・祝日の学校部活動を、「地域クラブ活動」に展開して取組を段階的に進めています。令和8年度は9校9部活動における休日の活動を地域クラブに移行し、地域の専門指導者の協力や地域資源を活用しながら、部活動の質と安心感を高めていきます。



URAYASU 文化クラブ

新しい部活動の形として、既存の部活動にはない文化系活動を学校の垣根を超えて行う「URAYASU文化クラブ活動」を令和7年度より展開しています。

令和8年度はクラブ数を8クラブに拡大し、子どもたちの多様な学びの場や居場所づくりの充実をさらに推進していきます。



既存の「昆虫」「写真」「オセロ」「クッキング」に加え、新たに「お菓子作り」「造形」「弦楽」「アウトドア」の4クラブを実施予定です。

メディアセンター・電子黒板の活用

市内小中学校の普通教室全てに75型電子黒板を設置し、小学校にはPC室と図書室を融合したメディアセンターを整備しています。ICT機器を効果的に活用することで、主体的に学ぶ児童生徒を育てていきます。



電子黒板を活用した授業



メディアセンターでのオンライン講話

※文部科学省が、教師が教師でなければならない業務に専念できるよう、「学校以外が担うべき業務」「教師以外が積極的に参画すべき業務」「教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務」について整理したものの。